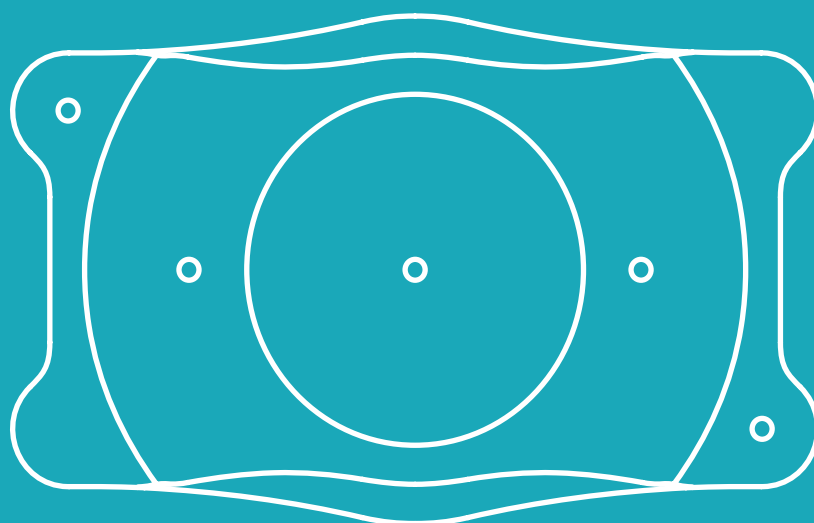


# 眼内コンタクトレンズ (ICL) 治療の医療費控除



# 眼内コンタクトレンズ(ICL)治療の医療費控除

ICLの治療費は医療費控除の対象です。医療費控除は年末調整では対応できず、確定申告を行ってそのメリットを受けるしかありません。けれど、人によっては十万円単位での税金の還付を受けることができます。

確定申告と聞いて、どんなイメージを抱くでしょうか。おそらくほとんどの方が「めんどくさい」とか「よくわからない」と思うはずですが、

最近ではフリーランスのみならず、サラリーマンもふるさと納税や医療費控除などによって、確定申告が身近なものになりました。しかも税金の還付を受けるだけの確定申告は、慣れてしまえば難しいものではありません。

医療費控除の概要や、控除対象となる医療費の範囲、また、具体的な還付金額や確定申告書の記載の仕方を見ていきましょう。

## 医療費控除と医療費の範囲

医療費控除とは1年間で支払った医療費の金額によって、納める税金を減らす制度です。

医療費控除の対象範囲は、同一生計の家族の医療費も含まれます。つまり、もしあなたが世帯主なら配偶者や子供の治療に関する医療費も、あなたの税金を減らす可能性があります。あるいは、あなたが世帯主でなければ、あなたの医療費が世帯主の税金を減らす可能性もあるのです。

具体的には、年間の医療費の総額から10万円を差し引いた金額が「控除」という形で税金を減らしていきます。

「控除」という言葉は特に覚えなくても大丈夫です。とにかく「控除」というものには税金を減らす効果があるんだ、それくらいで問題ありません。具体的な数字を使ったケーススタディや、確定申告書の記載方法は後述するので安心してください。

## 医療費の範囲

医療費控除の対象となる医療費には自由診療も含まれます。ポイントは医師の診療又は治療を受けて支払ったものかどうかです。

ICL治療は手術で眼の中にレンズを入れる矯正方法ですので、その費用は医療費控除の対象です。

## 医療費控除の計算と還付される税金の額

医療費控除の計算については、細かいことはさておき、ざっくりと把握すれば問題ありません(国税庁のブラウザソフトに年収などの情報を入力すれば自動で計算されます。後述するので安心してください)。具体的な金額は下のように計算されます。

確定申告の際の医療費控除の額※

(支払った医療費 - 保険金などで補填される金額 - 10万円)

減額される税金額

(支払った医療費 - 保険金などで補填される金額 - 10万円) × 自分の税率

※ 医療費控除の上限額は200万円です。また、所得金額が200万円未満の方は、その所得金額の5%の金額となります。

次に税率とケーススタディを見てみましょう。

## ケーススタディ

サラリーマンが支払う税金は主に、所得税と住民税です。所得税の税率は下記の表のとおりで、住民税の税率は一律10%です。

所得税の速算表（平成27年分以降）		
課税される所得金額	税率	控除額
195万円以下	5%	0円
195万円を超え 330万円以下	10%	97,500円
330万円を超え 695万円以下	20%	427,500円
695万円を超え 900万円以下	23%	636,000円
900万円を超え 1,800万円以下	33%	1,536,000円
1,800万円を超え 4,000万円以下	40%	2,796,000円
4,000万円超	45%	4,796,000円

例えば、所得税率20%かつ住民税率10%の方がいるとします。その方が年間で50万円の医療費を使ったとすると、

(50万円－10万円) × 税率(20+10)% = 12万円

という具合に、先の式に当てはめて、減額される税金の額が約12万円であると把握することができます。

このときの注意点は、所得税の税率です。年収をベースに上記の所得税率表を見るではありません。

源泉徴収票のサンプルを確認してみましょう。

支 払 又 は 居 住 地 を 受 け る 者	(受給者番号)		(役職名)		氏 名	
種 別		支 払 金 額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額	
給料・賞与		円 7,978,800	円 5,980,920	円 1,960,376	円 384,400	
(源泉控除対象配偶者の有無等)		配偶者の(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)		障害者の数(本人を除く)	
○ 有 無 等		特 定 老 人	その他		特 別 そ の 他	
○		円 380,000	人 人 人 人 人 人	人 1	人 人 人	人
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額
円 1,066,860		円 120,000		円 13,516		円
(備考)						
生保料等の金額(円)	新生命保険料の金額	円 180,000	介護医療保険料の金額	円 207,000	新個人年金保険料の金額	円 121,344
住宅借入金等特別控除の金額(円)	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344
住宅借入金等特別控除の金額(円)	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344	住宅借入金等特別控除の金額	円 121,344

この場合は、年収が7,978,800万円です。所得はもっとずっと低く、

5,980,920円 - 1,960,376円 = 4,020,544円

と計算されます。源泉徴収票をみて所得を計算する方法は、このようにワンパターンで覚えておきましょう。

→ 給与所得控除後の金額 - 所得控除の額の合計額 = 所得の金額

そうするとこの源泉徴収票の持ち主は、所得税率表にあてはめると所得税率20%であるとわかります。

最後に源泉徴収票を用いて、確定申告書を作成してみましょう。

確定申告書の作り方

源泉徴収票、医療費の支払い先と金額がわかる資料(領収書など)、マイナンバーカードを用意しましょう。

国税庁のホームページには「確定申告書等作成コーナー」というブラウザソフトがあり、その流れに沿って入力を進めれば、基本的には確定申告書は完成します。



確定申告書等作成コーナー  
www.keisan.nta.go.jp/kyoutu/ky/sm/top#bsctrl

以下は、画面に沿って解説します。

国税庁 確定申告書等作成コーナー

作成コーナートップ

お知らせ

2020/04/21 国税局審判相談センターが開設されました

2020/04/06 申告・納付期限の個別延長手続きについて

2020/03/11 新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方には猶予制度があります

申告書等を作成する

作成前にご利用ガイドをご覧ください。

NEW 作成開始

保存データを利用して作成

- 新規に申告書や決算書・収支内訳書を作成
- 途中で保存したデータ（拡張子が【.data】）を読み込んで、作成を再開
- 過去の申告書データを利用して作成

上記URLをクリックするとこの画面が表示されます。作成開始をクリックします。

国税庁 令和元年年分 確定申告書等作成コーナー

税務署への提出方法の選択

トップ画面 事前確認 申告書等の作成 申告書等の送信・印刷 終了

税務署への提出方法を選択してください。

e-Taxで提出  
マイナンバーカード方式

e-Taxで提出  
ID・パスワード方式

印刷して提出

e-Taxという電子申告の方法もありますが、よくわからなければ一番右の印刷して提出をクリックします。

国税庁 令和元年年分 確定申告書等作成コーナー

作成する申告書等の選択

トップ画面 事前確認 申告書等の作成 申告書等の送信・印刷 終了

1 事業所得や不動産所得がある方は、所得税の確定申告書を作成する前に、青色申告決算書・収支内訳書を作成してください。

作成する申告書等と年分を選択してください。

令和元年年分の申告書等の作成

所得税

決算書・収支内訳書

消費税

贈与税

一番左の赤枠「所得税」をクリックします。

入力方法選択

申告する方の方の種類のにより申告書の作成手順が異なります。該当する作成手順の「作成開始」ボタンをクリックしてください。

給与・年金の方  
(給与・年金専用)

左記以外の所得のある方  
(全ての所得対応)

左のボタン選択が  
お分かりにならない方

一番左の青枠「給与・年金の方」をクリックします。(給与以外の収入がある方は真ん中、よくわからない方は一番右をクリック)

適用を受ける控除の選択

年末調整で適用を受けた控除以外に追加・変更する項目にチェックをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例の適用に関する申請書を提出された方が確定申告を行う場合には、ワンストップ特例の適用を受けることができません。確定申告を行う際に、全てのふるさと納税の金額を寄附金控除額の計算に含める必要がありますのでご注意ください。

適用を受ける所得控除について（複数選択可）	チェック	適用を受ける税額控除等について（複数選択可）	チェック
医療費控除	<input checked="" type="checkbox"/>	(特定増改築等) 住宅借入金等特別控除	<input type="checkbox"/>
寄附金控除	<input type="checkbox"/>	(住宅特定増改築特別税額控除 (年末調整で既に適用を受けている場合を除く))	<input type="checkbox"/>
雑損控除	<input type="checkbox"/>	住宅貯蓄改革特別控除	<input type="checkbox"/>
上記以外の控除の追加・変更	<input type="checkbox"/>	住宅特定増改築特別税額控除	<input type="checkbox"/>
年末調整で適用を受けた控除の変更や、適用を受けていない控除の追加をする場合はチェックをしてください。	<input type="checkbox"/>	認定住宅新築等特別税額控除	<input type="checkbox"/>
・ 国民年金や国民健康保険料（扶養親族のものを含む）を追加		外国税額控除	<input type="checkbox"/>
・ 生命保険控除や地震保険控除を適用		予定納税額	<input type="checkbox"/>
・ 配偶者控除の適用をやる		本年分で差し引く繰越損失額	<input type="checkbox"/>
・ 控除額は適用額を適用		翌年以後に繰り越す損失額	<input type="checkbox"/>

医療費控除の適用を受けるので、医療費控除にチェックを入れます。その後は流れに沿って生年月日などを入力すると、源泉徴収票の入力画面になります。

源泉徴収票の入力

令和元年年分の源泉徴収票に記載されているとおりに入力してください。

①支払金額

②給与所得控除後の金額

③所得控除の額の合計額

④源泉徴収税額

⑤住宅借入金等特別控除の額の記載

お手持の源泉徴収票の情報を入力します。対応する番号の箇所を転記するだけなので、非常に入力しやすいです。

所得控除の入力

ふるさと納税ワンストップ特例の適用に関する申請書を提出された方が確定申告を行う場合には、ワンストップ特例の適用を受けることができません。確定申告を行う際に、全てのふるさと納税の金額を寄附金控除額の計算に含める必要がありますのでご注意ください。

配偶者や扶養親族の所得を控除の入力は、「配偶者控除」、「扶養控除」の入力画面から行ってください。

所得控除の種類 (各控除の概要はこちら)	入力・訂正 内容確認	入力 有無	入力内容から計算した控除額 (円)	所得控除の種類 (各控除の概要はこちら)	入力・訂正 内容確認	入力 有無	入力内容から計算した控除額 (円)
基礎控除				寡婦、寡夫控除			
医療費控除	入力する			勤労学生控除			
社会保険料控除				障害者控除			
小規模企業共済等掛金控除				障害者(特別)控除			
生命保険料控除				扶養控除			
地震保険料控除				基礎控除			380,000
寄附金控除				合計			1,960,376

源泉徴収票の入力が終わったら、次は医療費の詳細を入力します。「入力する」をクリックします。

以上が、医療費控除の概要と確定申告の仕方です。慣れてしまえば、そんなに難しいものではないことがおわかりいただけたでしょうか。もし、わからないことがあれば、税務署に問い合わせれば答えてくださるので、安心して確定申告書の作成・提出することができます。